

箕面市人権啓発推進協議会 ニュースレター

vol.27
2020.04 編集
2020.09 発行

箕面市人権啓発
推進協議会
わっと



「わっと」は当協議会の愛称です。
人権ってなに?の「What」と、人権
の輪が「わっと」広がってほしいと
いう願いが込められています。



人権の人 INTERVIEW

啓発活動と支援活動の両輪で みなさんとつくる男女共生社会

Q.男女協働参画啓発研究部会(以下、ジョケン)に関わるようになった経緯と活動について教えてください

人権協との関わりは1988年の在日部会発足の準備会に始まり、その後も「みのおセッパラム」という体験型イベントを実行委員の方々と運営し、セッパラム終了後は在日部会を再開して啓発研究活動を行っていました。

ジョケンに関わるようになったのは、人権協事務局が市から市民に委ねられることになった2005年以降です。それまでジョケンで活動をされていた方が全員引退されたため、初代の市民事務局長であった河野秀忠さんから当時箕面市男女協働参画課にいた私に声がかかり、新メンバーでの再スタートを切りました。

ジョケンで意識しているのは、新聞やテレビ、ネットで流れるニュースや日々の暮らしを「ジェンダーの視点」で捉え直すことです。政治や教育、女性の貧困、性役割、性暴力やDV、#MeToo運動、日本の男女平等指数の低さなど様々な現実と社会的背景について話し合っています。そうした活動から「いろはかるた(ジェンダーかるた)」を作って、性別役割分担意識の当たり前、男女の不平等あるあるをわかりやすく見える化したり、人権フォーラムに関わる他団体の方たち

箕面市 人権啓発推進協議会
男女協働参画啓発研究部会 部会長 **森幸子さん**

1998年の民族部会(現在日外国人問題啓発研究部会韓国・朝鮮人問題啓発研究会)準備会から人権協に関わる。箕面市男女協働参画課を退職後、2012年1月から2016年3月まで人権協事務局員をしながら現在は男女協働参画啓発研究部会を中心に活動。

と協力して「女性」分科会を企画し、市民のみなさんと一緒に男女協働参画課題を考える機会づくりをしています。

Q.これからのジョケンがめざすところは

ジョケンには「やろう!」となったらすぐに動き出す頼もしい関係性があります。一方で新しい人が気軽に参加しにくいかなとも感じています。例えば男性問題、LGBTQ、職場のハラスメント、女性史などに関心を持つ方たちに男女協働参画啓発研究部会の中に研究会を立ち上げていただく人権協の啓発研究活動のすそ野が広がっているのではないかなと考えます。何かを始める方たちの受け皿がジョケンである必要はないのですから。私自身今は啓発に比重を置いています。今後は個別の支援活動に力を入れていきたいですね。まだまだ女性にとって生きづらい社会ですが、私たちが発信するメッセージや願いがしんどい女性に届いてほしいと思いますし、女性の置かれた状況が少しずつでも変わっていくことを願って、これからも活動を続けていきます。

人権協トピックス

箕面市人権啓発推進協議会から、本部事業のご紹介や各種ご報告をいたします



食事を囲みながらスピーチをつなぐ 人権への取り組みを互いに労い絆を

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」。年度が変わるこの時期、時間の流れがいつそう早く感じながら「うまいこと言った言葉だな」と感心させられます。みなさまご多用のなか、1月31日(金)には箕面市人権啓発推進協議会「わっと」主催の新年互礼会を開催いたしました。人権啓発推進協議会の各啓発研究メンバーをはじめ、箕面市人権文化部や教育委員会など人権に関わる分野の方々が総勢68名ほど集い、差別のない豊かな1年を祈願してテーブルを囲みました。互礼会の恒例行事、アポイントなしで次々とスピーチしてもらう「マイクまわし」は今年も健在。「わっと」事務局の司会から突然氏名を呼ばれた参加者は、戸惑いながらも人権についての思いや、「わっと」との関わりなど、個性的なスピーチを展開していただきました。会食と主に、笑いがいっぱいの



研究部会からのお知らせ

人権協の4部会それぞれからの活動報告です

在日外国人問題啓発 研究部会



キムチ作りを行いました

2月16日(日)、らいとびあ21の二階にある料理実習室でキムチ作りを開催しました。塩漬けの白菜に特製ヤンニョムを塗り込みます。初めての参加者も「おいしくできそうで楽しみ」と喜ばれていました。漬け作業が完了した後は参加者でゆで豚をいただきました。

障害者市民問題啓発 研究部会



「リズムに合わせて2019」を開きました

2月1日(土)に、毎年恒例の「リズムに合わせて」を開催。ちんどんの「てんてこまい座」やフラダンス「ロミロミーズ」、ダンスの「ジャズ天」など様々なステージが披露!ステージを飛び出てフロアを巻き込むシーンも。歌あり踊りありの、とても楽しく心が温まる3時間でした。

深める互礼会

和やかな新年互礼会となりました。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございます。気ぜわしいなかにも絆を確かめ合い、明るい箕面のまちづくりに寄与できるよう、今年度もどうぞよろしくお祈りいたします。

あなたに故郷があるように 福島で被災した人たちにもふるさとはある

2月15日(土)、人権プラットフォーム事業として、『被災地の今を語る～福島県双葉郡浪江町』の講演会を行いました。講師として、「放課後なみえ子どもクラブ」代表で「チームなみえG&B」事務局長の新山伸一さんと、立命館大学産業社会学部准教授の丹波史紀先生をお招きしました。

震災から9年。元小学校教員である新山さんには、被災から今に至る歩みや現状、福島県浪江町のこどもたちの支援やこれからの課題、そしてふるさとを想う気持ちを語っていただきました。

また、丹波先生からは<復興の基本は被災地の生活再建を中心とした「尊厳回復」>をテーマに、福島第一原発による被災地の現状と課題を統計や調査指標を踏まえた視点で分かりやすくお話いただきました。

テレビからの情報だけでは知る機会がなかった福島の現実や今頑張っている人々の思いを知ることができ、今の自分に何ができるかを考えさせられました。



web site

箕面市人権啓発推進協議会 ニュースレターはHPからご覧いただけます。

箕面市 人権協 ニュースレター

検索

男女協働参画啓発 研究部会



ふくしま支援の物品販売とカンパを募る

新年互礼会で「ウィメンズスペースふくしま」へ向けたカンパの募集を行いました。南相馬市小高工房ショップの辛油や、双葉郡浪江町の「つながりのボールペン」も販売。東日本大震災以降、福島で女性の悩みに寄り添い続ける方々への支援にご協力いただき、ありがとうございました。

同和問題啓発 研究部会



互礼会でも大人気! かすうどん

以前部員でチャレンジした『あぶらかす』料理が評判になり、新年互礼会でも振る舞うことに。味付けも大成功! あぶらかすの美味しさが溶け出たうどん出汁を味わうと、みなさん「あたたかくてうまい」と舌鼓。かすうどんでは会場と皆さんのお腹を温めることができよかったです。

column The Genderbread Person

ジェンダー・セクシュアリティについて知ろう



- A: Gender Identity**
(性自認)
- B: Sexual Orientation**
(性的指向)
- C: Biological Sex**
(生物学的性別)
- D: Gender Expression**
(ジェンダー表現)

左図は、ジェンダーブレッドパーソン(英語)
<https://www.itspronouncedmetrosexual.com/2012/03/the-genderbread-person-v2-0/>
をもとに、筆者が作図しました。

本図は他人の性やセクシュアリティを勝手に判断するためにはなく、あくまでも自分の性と身体について理解するためのものです。

「わっと」事務局のなかだこうじえんりけです。みなさんは「LGBTQ※1」ということばを聞いたことがありますか？これまで日本の教育現場では、自身の性・身体について知る機会が少なかったため、「LGBTQ」の理解も、なかなか十分には進んでいない現状があります。まず、自身の身体や性のあり方について考えることで自分を大切にすることにつながり、他者の身体や性を尊重することができるようになります、私は考えます。今回ご紹介する「ジェンダーブレッドパーソン」は、ジェンダー・セクシュアリティ教育のために米国で生まれた概念図で、自身の性・身体について考える上で、役に立つのではないかと思います。

図の上部から順番に説明します。脳の位置に描かれているAは「Gender Identity(性自認)」で、女性・男性・どちらでもない・両方……、という風に、自分の性別をどのように捉えているのかを表しています。左胸の位置に表さ

れているBは「Sexual Orientation(性的指向)」で、どういった人に心が惹かれるかということです。股の間に描かれているCは「Biological Sex(生物学的性別)」で、女性器、男性器を表していますが、形状や分化の仕方には様々な個人差があり、必ずしも女!男!とはつきり分けられない場合もある、ということもお伝えしておきます※2。最後に図の右側に描かれたDが「Gender Expression(ジェンダー表現)」です。どのような格好をすることで女らしさ・男らしさ・中性的な雰囲気を出す/出さないか、などを示しています。

このように、性やセクシュアリティを形づくる要素は数多く存在しているため、多様なコンビネーションがあります。この機会にご自身の性と身体について考えてみることで、ご自身が一番自分らしくいられるあなただけの「あり方」を模索していけたら良いなと思います。ジェンダーブレッドパーソンとともに……。

※1 「LGBTQ」:「Lesbian」レズビアン/自身のことを女性と認識していて女性を好きになる人、「Gay」ゲイ/自身のことを男性と認識していて男性を好きになる人、「Bisexual」バイセクシャル/性自認に関わらず、男女両性を好きになる人、「Transgender」トランスジェンダー/出生時に割当てられた性別とは異なる性別で生きたいと思う人。L・G・Bとは異なり、性的指向は入っていません。「QueerまたはQuestioning」Queerクィア/ももとは英語圏で「変なヤツ」を意味する蔑称。そうした差別用語を、敢えて自身を表現する言葉として使用されたもの。現在では従来の性の「当たり前」に疑問を投げかける人々の総称。Questioningクエスチョニング/自身の性別や好きになる対象がまだハッキリわかっていない人、決められない・決めたくない場合も含まれます。この他にも多くの種類があり、定義が定まらない/見解が分かれるものも多いです。

※2 ただし、「DSDs(ディーエスディーズ、Differences of sex development/体の性の様々な発達)」の個々の当事者の方々の中からは、必ずしも「LGBTQ」の一員として見られたいわけではない、「I・インターセックス」などと包括的に呼ばれたい、という声も多いようです。詳しくは、日本性分化疾患患者家族会連絡会(日本語)(<https://www.nextsd.com/dsd>)を参照。

箕面市人権啓発推進協議会 ニュースレター

2020年4月 Copyright ©箕面市人権啓発推進協議会

発行:箕面市人権啓発推進協議会
大阪府箕面市萱野1-19-4
箕面市立萱野中央人権文化センター
(らいとびあ21) 2F

お問い合わせ・ご相談はこちらから
072-722-2470
FAX: 072-734-6509
jinken-jimu-minoh@silk.ocn.ne.jp

箕面市人権啓発推進協議会について詳しくはwebサイトへ
<http://wat-minoh.sakura.ne.jp/>

箕面市人権啓発推進協議会

検索

